

第16回

近畿高等学校スポーツクライミング大会

平成23年11月12日(土)

ナカガイクライミング堺リードジム

主催	近	畿	地	区	山	岳	連	盟
	近	畿	高	等	学	校	体	育
後援	大	阪	府	教	育	委	員	会
主管	大	阪	府	山	岳	連	盟	
	近	畿	高	等	学	校	体	育
	大	阪	高	等	学	校	体	育

第16回近畿高等学校スポーツライミング大会 大会役員(案)

1. 名誉会長 國松 嘉仲(近畿地区山岳連盟会長)
2. 会 長 江畑 政彦(近畿高等学校体育連盟会長)
3. 副 会 長 飯田 賢良(近畿高等学校体育連盟副会長)
山本 誠三(近畿高等学校体育連盟副会長)
猪飼 和雄(近畿高等学校体育連盟副会長)
井岡 陽子(近畿高等学校体育連盟副会長)
田村登志樹(近畿高等学校体育連盟副会長)
4. 顧 問 猿田 茂(大阪高等学校体育連盟登山専門部長)
中西 正人(大阪府教育委員会教育長)
國松 嘉仲(滋賀県山岳連盟会長)
林 辰夫(京都府山岳連盟会長)
山並 久次(大阪府山岳連盟会長)
中西 研一(兵庫県山岳連盟会長)
吉村 忠明(奈良県山岳連盟会長)
遠山誠之介(和歌山県山岳連盟会長)
5. 参 与 北川憲一朗(大阪府教育委員会保健体育課長)
真野 正道(大阪高等学校体育連盟副会長)
上本 哲雄(大阪高等学校体育連盟副会長)
坪光 正躬(大阪高等学校体育連盟副会長)
杉野 澄子(滋賀県高等学校体育連盟登山専門部長)
勝田 尊博(京都府高等学校体育連盟登山専門部長)
深田 俊郎(兵庫県高等学校体育連盟登山専門部長)
宮田 康和(奈良県高等学校体育連盟登山専門部長)
井上 雅雄(和歌山県高等学校体育連盟登山専門部長)
6. 大会委員長 飛田 典男(大阪府山岳連盟理事長)
7. 大会副委員長 岸本 秀幸(滋賀県高等学校体育連盟理事長)
角井 弘之(京都府高等学校体育連盟理事長)
山崎 政範(大阪高等学校体育連盟理事長)
船田 一彦(兵庫県高等学校体育連盟理事長)
和田 俊廣(奈良県高等学校体育連盟理事長)
大村 哲司(和歌山県高等学校体育連盟理事長)
川端 章治(大阪高等学校体育連盟登山専門部委員長)
8. 委 員 片岡 幸一(滋賀県山岳連盟理事長)
宮永 幸男(京都府山岳連盟理事長)
古賀 英年(兵庫県山岳連盟理事長)
藤本 直民(奈良県山岳連盟理事長)
小比賀利雄(和歌山県山岳連盟理事長)
北村 仁司(滋賀県高等学校体育連盟登山専門部委員長)
鎌原 伸博(京都府高等学校体育連盟登山専門部委員長)
桑田 克治(兵庫県高等学校体育連盟登山専門部委員長)
小原庄之助(奈良県高等学校体育連盟登山専門部委員長)
沼野 正博(和歌山県高等学校体育連盟登山専門部委員長)

競技役員

競技委員長	沼野 正博(和歌山・田辺)	
競技副委員長	川端 章治(大阪・久米田)	
	北村 仁司(滋賀・八幡)	
	鎌原 伸博(京都・京都産業大附属)	
	小原庄之助(奈良・高取国際)	
	桑田 克治(兵庫・神戸)	
審査委員長	沼野 正博(和歌山・田辺)	
審査委員	川端 章治(大阪・久米田)	
	北村 仁司(滋賀・八幡)	
	鎌原 伸博(京都・京都産業大附属)	
	小原庄之助(奈良・高取国際)	
	桑田 克治(兵庫・神戸)	
ルートセッター	中貝 次郎(ナカガイジム)	
ルートのバグ-	道旗 秀人(大阪・富田林)	
ビレーヤー	柴田 武志(滋賀・瀬田工業)	
	栗原 研一(京都・洛東)	
	森 昌範(大阪・常翔啓光学園)	
	伊藤 孝史(兵庫・夢野台)	
	永曾 義子(奈良・奈良女子大附属)	
	山本 元成(和歌山・紀北工業)	
タイムキーパー	國松 豊(大阪・常翔学園)	
	久壽 裕人(大阪・都島工業)	
コール係	西畑 賢(大阪・茨木工科)	濱谷 哲次(大阪・枚方なぎさ)
	内田 正俊(大阪・西成)	
選手誘導係	梨木 昭平(大阪・第二工芸)	
	伊勢田佳典(大阪・高津)	
V T R 係	岡部 一利(大阪・四條畷)	西森 公男(大阪・池田北)
	中村 幸雄(大阪・三島)	
記録・集計	上農真紀雄(大阪・和泉総合)	北田 広明(大阪・常翔啓光学園)
	南 美幸(大阪・長野)	

運営役員

運営委員長	村田 実(大阪・近畿大学附属)	
運営副委員長	渡辺 直之(大阪・東住吉)	
受付・会計・昼食	平井 治男(大阪・夕陽丘)	内田 暁代(大阪・北淀)
	中河 恭子(大阪・三国丘)	
広 告	川崎 容子(大阪・枚岡樟風)	紙谷ちぐさ(大阪・咲洲)
駐 車 場	夏川 照章(大阪・東百舌鳥)	

補助員

近畿大学附属高等学校 放送部

近畿大学附属高等学校 山岳部

第16回近畿高等学校スポーツクライミング大会実施要項

1. 目的 高等学校登山部生徒の技術・体力の向上とスポーツクライミングの普及をめざす。
2. 主催 近畿地区山岳連盟
近畿高等学校体育連盟
3. 後援 大阪府教育委員会
4. 主管 大阪府山岳連盟
近畿高等学校体育連盟登山専門部
大阪高等学校体育連盟登山専門部
5. 期日 平成23年11月12日(土) 9:00 ~ 16:30
6. 会場 ナカガイクライミング堺リードジム
堺市中区土師町4-3-14 TEL 072-320-1684
(泉北高速鉄道、深井駅下車、徒歩11分)

7. 内容 日程	日時	内容	備考
	11/11(金) 9:00~	大会準備	
	11/12(土) 8:00~ 9:00~ 9:20~ 9:40~	役員打ち合わせ・大会準備 受付 開会式 予選	予選 フラッシング・トップロープ方式 男女別2コース・制限時間4分
	12:30~ 13:30~	昼食 決勝	決勝 オンサイト・リード方式 男女別2コース・制限時間6分
	15:30~ 16:00	閉会式 解散	

8. 参加資格 各府県高等学校体育連盟登山専門部に加盟している高等学校の生徒で、各府県の予選または推薦による参加資格を得た者。

9. 選手 48名(男子30名・女子18名)

	男子選手	女子選手	男子補欠	女子補欠
参加府県	5名	3名	2名	2名

10. 服装 スポーツクライミングに適したもの(ジャージ・運動靴・メガネ止め等)
11. 用具 ハーネス・クライミングシューズ・チョークバック(貸し出しはありません)

12. 参加費 3,000円/人 当日徴収(当日欠席は保険代を徴収します)

13. 連絡事項

- (1) 申込書は各府県専門委員長がとりまとめて、申込一覧表とともに10月27日(木)までに、下記申込先に送付してください。選手の各府県内予選の順位、クライミング経験回数、最高登はんグレード(わかる範囲で)を記入してください。

〒 584-0035 富田林市谷川町4 - 30

大阪府立富田林高等学校 道旗秀人 宛

TEL 0721-23-2281(学校) FAX 0721-23-2204

- (2) 選手変更については、選手変更届を大会当日受付終了時までには大会事務局へ届け出てください。
- (3) 予選の登る順番は、各府県の予選順位の低位からとします。
- (4) 選手の各府県内予選の順位、クライミング経験・オンサイト最高グレードを記入してください。
- (5) 前日泊については、参加各校でご対応ください。計画輸送はありません。
- (6) 当日は弁当を持参してください。こちらで昼食の手配等はしません
- (7) 決勝進出者はアイソレーションゾーン内の決まった場所で昼食を取ることになります。あらかじめ、調理しなくても食べられる昼食を用意しておいて下さい。
- (8) 決勝進出者はアイソレーションゾーンにビデオその他の記録用機器、携帯電話その他の通信用機器を持ち込むことはできません。
- (9) 大会中のケガ等について、応急処置・病院までの搬送までは行ないます。
- (10) 11月11日からの大会準備期間中はルートセットのために選手及びその関係者は会場付近に来ないこと。
- (11) 会場での練習は直接申込をして下さい。
- (12) その他、不明な点は上記の申込先へお問い合わせ下さい。

近畿高等学校スポーツクライミング大会競技規則

1. 競技内容

リード・ディフィカルティ方式による。(個人種目)

但し、当面トッロープ・バックロープ方式を併用することがある。

(1) 予選.....フラッシング方式(オープン方式)で実施する。

- a) 登る順番は、各府県予選の下位からとし、府県順は別途定める。
- b) スタートは壁の前で準備ができ次第、計時係がコールをする。
- c) 最初にインストラクターが模範演技をする。

(2) 決勝.....オンサイト方式で実施する。

- a) アイソレーション・ゾーンで隔離する。
 - ・他の選手の登りを見る事はできない。
 - ・またオブザベーション以外、壁を見る事はできない。
 - ・アイソレーション・ゾーン内にあるウェイトングルームで出場まで待機する
 - ・アイソレーション・ゾーン外部と、連絡をとることはできない。
 - ・ビデオ、カメラその他の記録用機器、携帯電話等の通信用機器を持ち込むことはできない。
- b) オブザベーション(観察)は6分間とする。
 - ・双眼鏡の使用やメモを取ることは可とするが、ビデオその他の記録用機器の使用は不可とする。
 - ・ホールドをさわるとは可とする。ただし、両足が床から離れてはいけない。
 - ・そのルートに特別な事情やルールがある場合、審判長が説明する。
 - ・また、質問に答える場合、全員に聞こえるようにする。
- c) 予選で下位のものから登る。
- d) 競技エリアに入り40秒以内に登りを開始する。(開始とは両足が床面から離れた時点)
 - ・30秒経過後も登りを開始しない時、審判は登るように指示し、登らないときは失格とする。
- e) 競技エリア内に入った時点から計時を開始する。

2. 完登の定義

終了点のカラビナにロープをクリップすることにより、成立する。

3. 停止事項

- a) フォールした。
- b) 時間切れとなった。
- c) バウンダリー(境界線)を越えた部分に触った。
- d) 登りを開始後、再び地上に戻った。
- e) 人工的登攀的手段を用いた。(例:ハンガーに触ったり踏んだ、クイックドローを掴んだ。)
- f) 末クリップで身体の全てがクイックドローの下のカラビナを通過した。
- g) Zクリップに対する競技役員の指示を無視し、身体の全てがクイックドローの下のカラビナを通過した。
- h) ロープにテンションがかかった。(自重をはずけた。)
- i) 観客からルートやムーブの指示があった。(違反が明瞭な場合、選手は失格、観客は退場)
停止事項があった場合、審判は競技の中止を命じ、停止事項が生じた時点のホールドの位置が記録となる。

4. 成績の判定

- a) 記録は、競技終了時までには保持(タッチ)した最も高いホールドの位置となる。
- b) ホールド保持の記録は、+ (プラス)・N(付記無し)・- (マイナス)の3段階で、ホールドの位置に付記され順位に反映される。
 - + (プラス).....次のホールドを取る上で有効なムーブを行なった。(+ と記入)
 - 付記無し.....ホールドを保持した。
 - (マイナス).....ホールドの保持できる部分にタッチした。(- と記入)

5. テクニカルインシデント

競技中に主催者側の責任で競技条件の平等性が損なわれた場合、選手がその時点で申告すれば、5人以内に割り込んで登りをやり直すことができる。この場合、よい方が記録となる。
(例:ホールドが回転したり、破損したりした。クイックドロワーが正しい位置にない。)

6. ランキングの決定

- a) 決勝での順位を総合順位とする。
- b) 決勝で同位(タイ)の場合は予選順位が上位のものを上位とする。
- c) 予選も決勝も第1位(タイ)の場合はスーパーファイナルを実施する。
- d) スーパーファイナルでも同位の場合は所要時間を考慮する。
- e) 決勝に進まなかったものについては、予選の順位によって総合順位を決定する。

附則 平成 16 年 6 月 18 日 第 9 回近畿高等学校スポーツライミング大会運営会議にて改正
平成 21 年 6 月 26 日 第 14 回近畿高等学校スポーツライミング大会運営会議にて改正

別記

第 16 回近畿高等学校スポーツライミング大会予選 登はん順

- 1. 大会要項「9. 選手」の欄で補欠を男女各 2 名としています。本大会では補欠選手全てが出場できる予定です。
- 2. 予選の登攀順位は、次のように申し合わせています。

.....専門委員長会議で前もって枠を決定し、エントリー後、各府県の予選順位順に登はん順を決定する。.....

今年の登攀順は近畿高等学校スポーツライミング大会運営会議で抽選しました。

* 抽選結果 6 - 京都府 4 - 和歌山県 2 - 奈良県
 1 - 滋賀県 3 - 兵庫県 5 - 大阪府

登攀順(後ろより登攀)

.....:エントリーが枠一杯ないときは、とばしていく。.....